

(別紙) 帯広市環境モデル都市行動計画に基づく取り組みの状況

1 はじめに

現行の帯広市環境モデル都市行動計画（2019～2023年度）（以降、現計画とする）は令和元(2019)年3月に策定しました。この計画では、平成12(2000)年を基準年とし、温室効果ガスを令和12(2030)年までに約47万t-CO₂（30%以上）削減、長期目標として令和32(2050)年までに約74万t-CO₂（50%以上）削減するという目標を掲げ、56項目の取り組みを進めてきました。

2 現計画に基づく取り組みの状況

(1) 温室効果ガス排出量の実績

- 本市から排出される温室効果ガスは、増減を繰り返しながらも減少傾向となっています。
- 最新実績の令和2（2020）年の排出量は約130万t-CO₂となっています。
- 令和2（2020）年の部門別排出割合は家庭部門が最も多く、次いで運輸部門が多くなっており、家庭部門と運輸部門で全体の約58%を占めています。

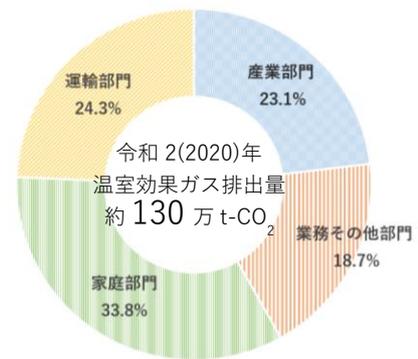
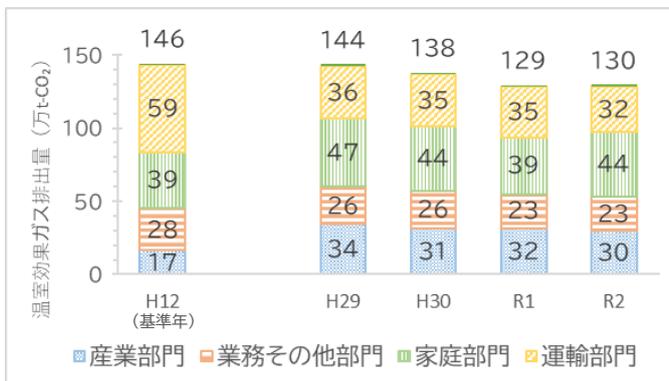


図1 温室効果ガス排出量の推移

図2 令和2（2020）年温室効果ガス排出割合

※端数処理（四捨五入）の関係で部門別内訳と合計値が異なる場合があります。

(2) 温室効果ガス排出削減量の実績

- 令和3(2021)年における温室効果ガス削減量は約29.7万t-CO₂、目標達成率は約103%となっています。
- 現計画の56の取組項目については一部に遅れがあるものの、概ね順調に進捗しています。

表1 温室効果ガス削減量の推移

(単位：万t-CO₂)

| | 第1期 | | | | | 第2期 | | | | | 第3期 | | |
|-----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|
| | H21 (2009) | H22 (2010) | H23 (2011) | H24 (2012) | H25 (2013) | H26 (2014) | H27 (2015) | H28 (2016) | H29 (2017) | H30 (2018) | R1 (2019) | R2 (2020) | R3 (2021) |
| 計画 | 2.7 | 4.5 | 6.1 | 7.9 | 12.1 | 14.0 | 15.8 | 17.7 | 19.7 | 22.4 | 25.2 | 27.1 | 28.9 |
| 実績 | 2.0 | 3.6 | 5.2 | 6.7 | 9.9 | 13.2 | 15.2 | 17.1 | 19.6 | 22.3 | 27.5 | 28.7 | 29.7 |
| 達成率 | 74% | 80% | 85% | 85% | 82% | 94% | 96% | 97% | 99% | 100% | 109% | 106% | 103% |

※排出係数は当該年度のものを用いている。

部門ごとの主な取り組み内容

| 部門 | 内容 |
|-------|--|
| 産業 | <ul style="list-style-type: none"> ●食品加工残さ等の有効活用や家畜排せつ物等の堆肥施用が順調に進んでいます。 ●森林整備による地域資源の循環利用に取り組むことにより、温室効果ガス削減に効果がみられました。 |
| 業務その他 | <ul style="list-style-type: none"> ●企業などにおける太陽光発電システムの導入が順調に進んでいます。 ●中島地区エコタウンの造成に向けて用地を取得したほか、一部区域を多目的広場として供用を開始しました。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ●家庭における太陽光発電システムやベレットストーブの導入により一定の効果がみられました。 ●省エネ・高性能建築物の建築や改築、家庭への省エネ機器の導入により一定の効果がみられました。 |
| 運輸 | <ul style="list-style-type: none"> ●エコカーの普及による温室効果ガスの削減量は目標値を達しています。 ●一部の公共交通機関に関する取り組みは、新型コロナウイルスの影響もあり目標値に達していません。 |